

岩手の森に降る雨（その2）

1 研究のねらい

県内の森林に降る雨の酸性度、樹木の衰退度の実態を調査し、今後の森林施業の参考資料を得る。この調査は全国的な調査の一環として実施しているものである。

2 研究方法と結果

(1) 調査方法

県内を41のメッシュ（5万分の1地形図に相当）に区分し、各メッシュ内に調査地を設定した。1990年～1994年の5年間で、全調査地の6月の雨水の酸性度（pH）と電気伝導度（EC）及び森林の衰退状況等について調査した。

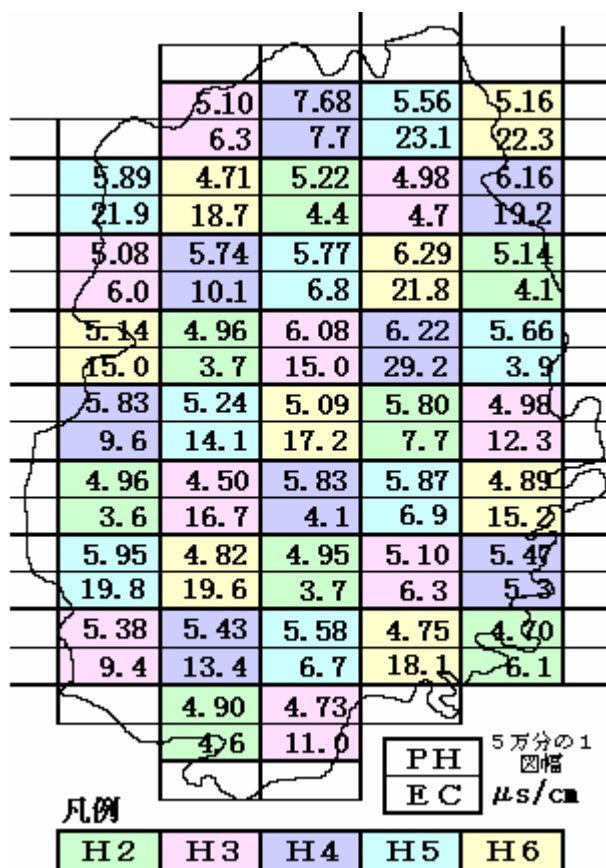


図-1 雨水の酸性度（pH）と電気伝導度（EC）

(2) 調査結果

図-1は、全県の調査結果である。

5ヶ年間の平均のpHは、5.40、ECは、11.6であった。

pH値は、年度別及び地域的にバラツキがあり、ECとの特定の関係因子は見いだせなかった。

県内の森に降る雨は、pH5.6以下の酸性雨が広範に確認されているが、全国的に汚染の比較的少ない清浄降雨の範囲内にあり、調査林分も酸性雨に関連するような衰退はみられなかった。（図-2及び研究成果速報 No12を参照）

3 成果と今後の進め方

今回と同じ調査地の2巡目（5年後）の調査を実施し、酸性度の変化及び林分の衰退度等について比較する。

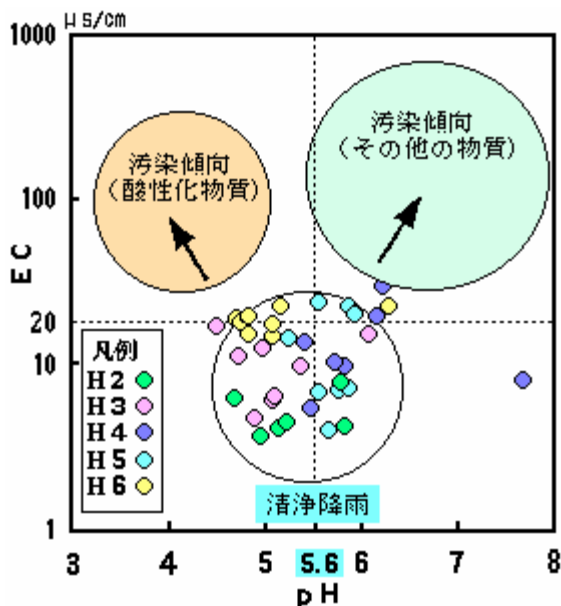


図-2 岩手県の雨水のpHとEC

（担当者 森林資源部 主任専門研究員 玉山 俊彦）

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11
岩手県林業技術センター
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536
FAX 019-697-1410
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017>